

奈良市水道事業中長期計画（R6改訂）（案）への意見募集について

奈良市水道事業中長期計画（R6改訂）

VISION2031

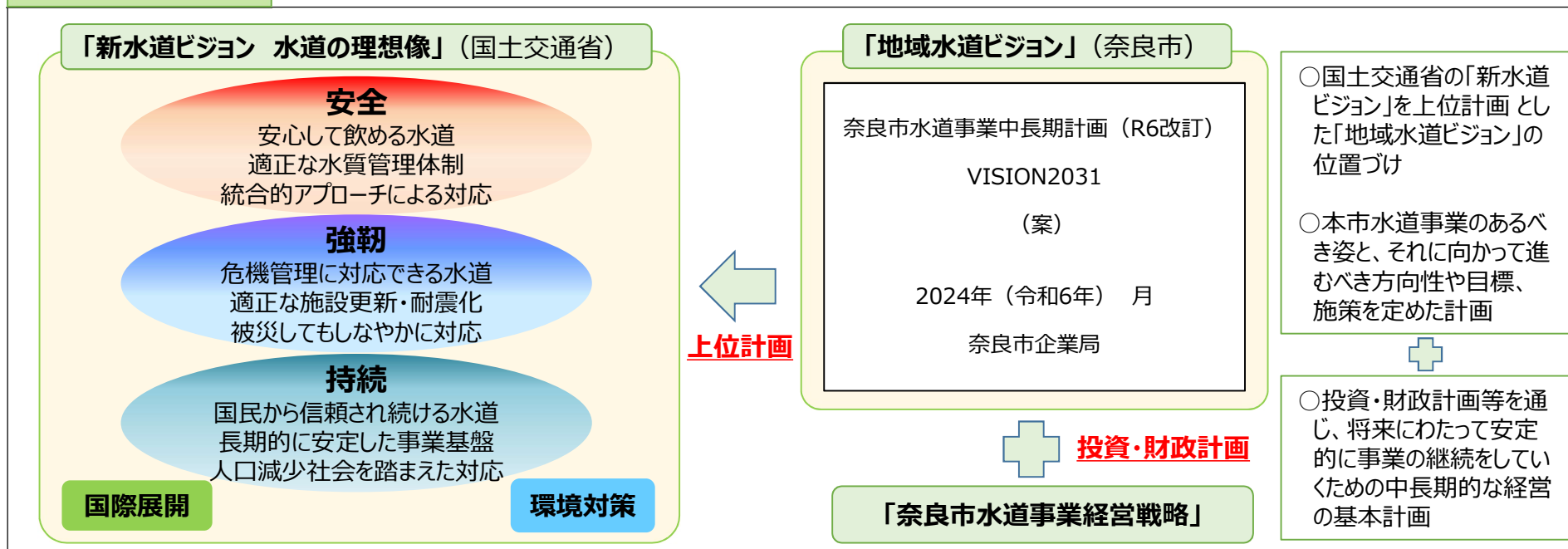
（案）

2024年（令和6年） 月

奈良市企業局

奈良市水道事業中長期計画（VISION2031）の概要

計画の位置づけ



計画期間と目標年次

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	
奈良市第5次総合計画 未来ビジョン2031	2022～2026前期			2027～2031後期					第6次総合計画		
第2期奈良市総合戦略	2022～2026第2期										第4期総合戦略
奈良市水道事業中長期計画 VISION2031	2024～2031（上位計画：奈良市第5次総合計画）									次期計画	
VISION2031 実施計画	毎年度の計画と決算の乖離分析の検証と評価を行い見直し									次期計画	
VISION2031 財政計画	毎年度の計画と決算の乖離分析の検証と評価を行い見直し									次期計画	

【奈良市の水道事業の現状】

- 高度経済成長期に急増した水需要量に対応するために拡張事業を重ねてきたが、その後に人口の減少や節水機器の普及などによって水需要量が減少。施設や管路の計画的な更新、維持管理を中心とした取り組みが必要となっている。
- 今後も水需要の減少傾向が継続することが見込まれ、水道事業の経営状況への影響が危惧される。
- 現行の本計画は前回の改定（平成24年）から12年が経過しているとともに、水道事業の県域一体化の動きの中、本市の単独経営の方針が決定。



中長期計画の改定

【計画の策定趣旨】

- 施策の取り組み状況や国・県の動向等を振り返るとともに、あらためて本市水道事業のめざす方向性を確認し、市民と水道事業がともに目指す将来像を共有する。
- (テーマ)
- ◇ 人口減少、給水量減少、収益減少という外部環境の変化を直視し、投資内容に加え、日常業務についても効率化・充実化を図り、将来の水道料金の上昇の抑制をめざす。
 - ◇ 典型的な投資事業だけでなく、補修工事、日常維持管理業務などの予防保全、事後保全を組み合わせた総合的な長寿命化対策を重視。

奈良市水道事業中長期計画（VISION2031）の概要

計画の目標：バランスのとれた投資水準と料金水準の確保

投資水準

- ・更新投資は年平均26億円程度（重点施策）
- ・更新投資相当の維持管理業務を持続

料金水準

- ・現行の料金水準を維持（2022年度供給単価：183円/m³）

投資水準の目標

浄水施設の主要構造物耐震化率

2020年実績 23.0%
2031年目標 40.1%



管路の耐震管率

2020年実績 19.7%
2031年目標 24.0%



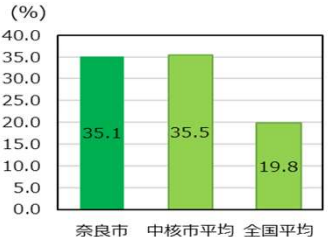
ポンプ所の耐震化率

2020年実績 71.2%
2031年目標 76.3%



基幹管路の耐震管率

2020年実績 35.1%
2031年目標 36.5%



配水池の耐震化率

2020年実績 76.3%
2031年目標 82.0%



※重点施策

強靱（頼りになる水道）

【施策】

- (1) 基幹施設の更新と耐震化※
- (2) 配水管の更新と耐震化※
- (3) 送配水管理システムの強化
- (4) 災害・事故への備え

安全（安心できる水道）

【施策】

- (1) 水源の保全
- (2) 水質の向上
- (3) 水質管理の強化

持続（喜ばれる水道）

【施策】

- (1) 経営基盤の強化
- (2) 有収率の向上
- (3) 人材の確保と職員の育成
- (4) お客様サービスの向上
- (5) 環境への配慮

投資水準と料金水準のフォローアップを行って強靱・安全・持続の水道事業を実施する。

料金水準の目標

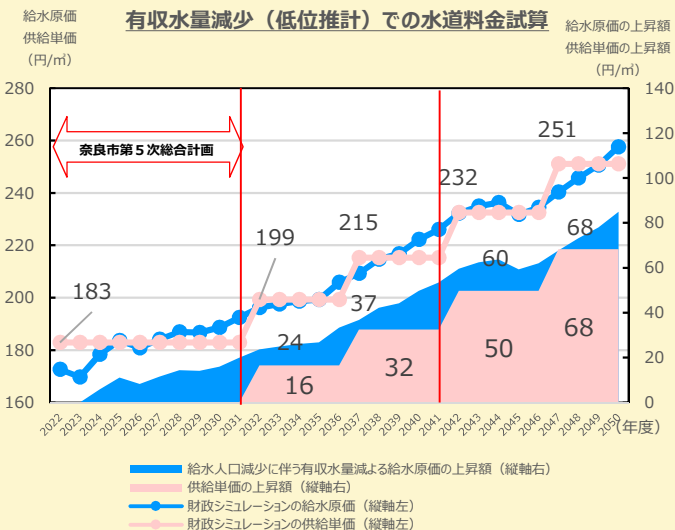
料金水準

水需要の要因

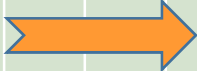
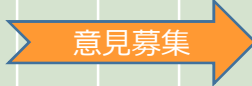
【人口・施策要因による水需要計画】

人口変動・施策要因により水需要が変動し料金水準に影響する。

給水人口低位推計でも、
2031までは現行料金水準



奈良市水道事業中長期計画（VISION2031）の改定スケジュール

令和6年	6月	7月	8月	9月	10月	11月
計画改定案の作成						
建設企業委員会への報告		● R6.7.23				
パブリックコメントの実施				 R6.8.19 ~ R6.9.20	● 結果の公表	
中長期計画の公表					